

伊賀市 事務事業評価シート

整備事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称	
1054		入交家保存整備事業	01		一般会計	
基本施策	36	歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ	10		教育費	
			05		社会教育費	
			02		文化財保護費	
担当部課名		教育委員会 生涯学習課 文化財室	104		文化財保存整備事業	
作成者氏名	中川 秀也	連絡先	22-9681	細々目	01	入交家保存整備事業

事業の計画・内容

整備目的	県指定文化財入交家住宅保存修理工事を行う	整備内容	1 整備面積等 2 規模・構造 3 総事業費(千円)	H13土地建物購入(80,493) H14土蔵半解体修理、発掘調査(26,300) 5~16主屋・長屋門・表屋半解体修理(112,945) H17解体修理・防災・庭園工事(65,428)
------	----------------------	------	----------------------------------	--

投入資源

①投入人員	正規職員 (人)	H17	H18(予算)	H19(予算)
		0.5	0.5	
	人件費合計(A)	3,600	3,600	0
②支出内訳(千円)	事業費(B)	65,428	4,178	0
	委託料	6,513	3,000	
	工事費	57,771		
	備品購入費	799		
	その他	345	1,178	
	合計(A+B)	69,028	7,778	0
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金		2,000	
	地方債	65,600		
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	3,428	5,778	0
上記①~③に関する特記事項				

根拠法令・要綱等	文化財保護条例
関連事業	

事業年度	開始年度	平成 13 年度	終了年度	平成 18 年度
------	------	----------	------	----------

進捗状況	区分	年度				
		H17	H18	H19	H20	H21
	半解体修理	○				
	防災・庭園工事	○				
	報告書の刊行		○			
	進捗率	100				

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	目標
		平成 18 年度
報告書の刊行	保存修理事業について報告書をまとめ、市民に紹介される。	1

事業開始時からの状況変化等

入交家住宅は平成10年3月17日三重県建造物の指定を受けており、江戸時代の武家屋敷を構成する建物(主屋・長屋門・土蔵・表屋)がまとまって残存し、内外ともに創建時の状態が良く保存されている。武家屋敷が全国的にも数少ない今日、このような遺物は貴重で、中級武士住宅の一典型として高く評価される。平成13年度に土地建物を購入して公有化し、平成14年度から平成17年度にかけて、それぞれの建物を江戸時代の姿に復元した。平成18年度は事業の報告書を刊行する予定である。

評価	必要性	4	縮小 保存修理工事が終了したため。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		
				A